

都市再生整備計画(案)

なめりかわしちゅうしんし が い ち
滑川市中心市街地地区

富山県 なめりかわし
滑川市

平成 21 年 8 月

1. 地区の概要

(1) 地区の名称	滑川市中心市街地地区
(2) 面積	156.0ha
(3) 計画期間	平成22～26年度
(4) 総事業費	8億5千万円

2. まちづくりの目標

『安全・安心、人が集いふれあう、ふるさと再生のまちづくり』

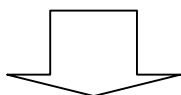
中心市街地内に包蔵する地域資源を整備・活用し、ふるさと再生として賑わいを創出する。

市民や観光客が楽しみ、ふれあい、自己実現を図るコミュニティの場を提供する。

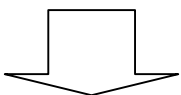
災害発生時に備え、官民協働による機動的対応を可能とする安全・安心な環境を整備する。

3. まちづくりの現況

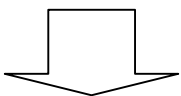
中心市街地における
都市機能の衰退



市民交流プラザ整備や
まちなみの再生による
賑わい創出の取組み



まちの空洞化の改善



活性化及び防災対策
の推進に対する
市民からの要望

・滑川市の中心市街地は、かつて都市機能の集積を通じて経済活動の中心となり、文化や伝統を培い、市の「顔」としての役割を担ってきたが、近年では商業機能をはじめとする各種の都市機能の衰退が進み、経済活動や社会活動の停滞を招いている。

・そこで市では、新たな交流施設として市民交流プラザや周辺公共施設等の整備（平成16年～19年）を行ってきた。これにより現在では、滑川駅前商業地区には徐々に人が集まるようになっており、地域のまちづくりに対する関心が着実に高まりをみせている。
・また、市街地で滑川の商業の歴史とともに歩んだ小泉屋(旧宮崎酒造)の屋敷を民間の手によって再生し、展示場として活用する計画があるなど、賑わい創出の契機になるよう整備を進めている。

・しかしながら、中心市街地を全体的に捉えると、高齢化の進行や核家族化による若年人口の郊外流出に歯止めがかからず、空き家や空き地が増えるなど、今なお、まちの空洞化が進んでいる状況である。

・こうした中、平成19年1月に開催された橋場・瀬羽町地区の再生にかかるシンポジウムのアンケート調査結果において、約85%が“中心市街地の再生が必要”とするなど、中心市街地における活性化や防災対策の推進について市民から強い要望が出されている。

4 . まちづくりの課題

中心市街地のさらなる活性化

- ・北国街道宿場町であった地域のふるさとの再生や、既存の観光施設などとの連携による相互の賑わい創出など、中心市街地の活性化が求められている。
 - 市民会館大ホールの利便性向上を図るため、耐震化とともにステージや音響設備等の改修が必要
 - まちなかにおける回遊性の向上を図るため、周辺公共施設等の整備が必要
 - 新たな交流拠点を創出するため、橋場町の歴史的評価の高い土蔵やまち並みの再生・活用が必要

市民や観光客が楽しめるコミュニティの場の不足

- ・既存の観光施設と周辺施設との連携により、市民や観光客が相集い楽しめるコミュニティの場の提供が求められている。
 - 既存の観光施設と周辺施設との連携による賑わい創出のため、「タラソピア」の施設改修や周辺の施設整備が必要

災害時における被害の拡大が懸念

- ・中心市街地においては、地震・津波や木造住宅の密集、道路の狭隘による各種災害時の被害拡大が懸念されており、地域防災力の強化が求められている。
 - 市民に安全・安心な暮らしを提供するため、災害時の避難施設に指定されている市民会館大ホールの耐震化が必要
 - 市民による防災意識の向上を奮起するため、防災備蓄倉庫の整備が必要

5. 整備方針と事業内容

整備方針	概要	事業名		
			基幹	提案
安全・安心な環境整備	・市民が安全・安心に暮らせるように、災害時の避難場所である市民会館大ホールの耐震化及び空き地を活用した防災備蓄倉庫を整備する。	・市民会館大ホール耐震化事業		
		・防災備蓄倉庫整備事業		
賑わいの創出	・市内から人が集まる交通結節機能の強化や公共施設の公共交通の連絡強化、公共施設の利便性向上による賑わい創出のため、滑川富山線（歩道）や駅前広場の整備、市民会館大ホールの改修を行う。	・中滑川駅前広場整備事業		
		・市道滑川富山線歩道改良事業		
		・市民会館大ホール整備事業		
回遊性の向上とふるさと再生	・タラソピア周辺に集積する観光施設を訪れた市民や観光客をまちなかへと誘導するために、歩行系案内サイン・ポケットパーク等の休憩スペースのさらなる整備を進める。 ・また、地域資源である既存のまちなみの再生、親水広場の整備により、新たな交流拠点の創出を図る。	・広場、まちなか休憩スペース整備事業		
		・情報板、歩行系案内サイン整備事業		
		・土蔵再生整備事業		
		・まちなか親水公園整備事業		
観光・交流拠点の再整備	・タラソピアについて利便性の向上を目的とした施設改修を行うほか、アーケードを整備することで、周辺施設（道の駅、ほたるいかミュージアム）との一体化を図る。	・深層水体験施設タラソピア改修事業		
		・アーケード整備事業		

6. 概要図

